



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月31日

上場会社名 A B ホテル株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 6565 URL <https://www.ab-hotel.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 沓名 一樹
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理本部長兼経理部長 （氏名） 大出 章喜 TEL 0566 (79) 3013
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	6,033	16.3	2,417	25.3	2,388	25.5	1,483	25.1
2025年3月期中間期	5,185	6.9	1,929	8.9	1,903	9.1	1,185	8.9

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	104.67	—
2025年3月期中間期	83.66	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	28,022	13,949	49.8
2025年3月期	26,285	12,749	48.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 13,949百万円 2025年3月期 12,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	24.00	24.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 2025年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金17円 記念配当金3円（10周年記念配当）

3. 2026年3月期における1株当たり期末配当金については、20円から24円に変更しております。詳細については、本日（2025年10月31日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	12,000	12.4	4,690	18.4	4,600	17.7	2,900	14.1	204.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日（2025年10月31日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	14,176,000株	2025年3月期	14,176,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	466株	2025年3月期	466株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	14,175,534株	2025年3月期中間期	14,175,573株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。添付資料P2「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報	2
（１）経営成績に関する説明	2
（２）財政状態に関する説明	2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
２．中間財務諸表及び主な注記	3
（１）中間貸借対照表	3
（２）中間損益計算書	5
（３）中間財務諸表に関する注記事項	6
（継続企業の前提に関する注記）	6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	6

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績、雇用や所得環境の改善など、緩やかに持ち直しの動きが見られる一方、継続する物価の上昇、貿易政策の不確実性によって生ずる影響等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ホテル業界全体におきましては、国土交通省が発表する宿泊旅行統計調査（2025年7月・第2次速報、2025年8月・第1次速報）にて、宿泊事業全体の延べ宿泊数は7月5,575万人泊（前年同月比2.6%減）、8月6,682万人泊（同0.8%増）となり宿泊需要は昨年とほぼ同等程度の結果となりました。また当社の属するビジネスホテル業界の稼働率に関しては、7月74.7%、8月76.8%と、ビジネスホテル業界においても同水準で推移している状況であります。

こうした経済環境のもとで、当社はインバウンド需要を取り込むため、特に海外の利用頻度が高いOTA（Online Travel Agency）を拡充しました。また一部店舗でウェルカムドリンクを無料提供するなど、お客様の更なる満足度向上に努めました。その一方で人件費や資源価格の高騰によって生ずる様々なコスト増加に対応するため、一部店舗において実施していた自社清掃店舗を拡大してコストの削減に取り組みました。価格面では以前より行っていたレベニューマネジメントに磨きをかけ、コスト削減と適正価格の設定を両軸とした施策を実施しました。

宿泊ニーズの高い立地での運営に加え、当社の主要顧客であるビジネスのお客様が堅調に推移し、尚且つインバウンド需要や特に関西圏での宿泊需要が増加したことによって1室あたりの宿泊単価は上昇しました。その一方で稼働率の適正化を図った結果、前々期までに開業した既存34店舗の中間会計累計期間平均宿泊稼働率は85.6%（前年同期比0.5ポイント減）となりました。

当中間会計期間におきましては、2025年9月福井県初出店となる「A B ホテル越前武生」を出店し、新規開業店舗を含め運営店舗は37店舗となり、客室数は4,804室となりました。

この結果、当中間会計期間における売上高は6,033百万円（前年同期比16.3%増）、営業利益2,417百万円（同25.3%増）、経常利益2,388百万円（同25.5%増）、中間純利益1,483百万円（同25.1%増）となりました。また当社の主要KPIである経常利益率は39.6%となり、売上高、営業利益、経常利益、中間純利益は、いずれも中間会計期間における過去最高をそれぞれ更新しました。

なお、当社はホテル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当中間会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,737百万円増加の28,022百万円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が946百万円、有形固定資産がA B ホテルの新規出店等により479百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

（負債）

負債総額は、前事業年度末に比べ537百万円増加の14,073百万円となりました。主な要因といたしましては、A B ホテルの建設による借入金358百万円減少した一方、A B ホテルの新規出店等の未払金が448百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

純資産は、前事業年度末に比べ1,200百万円増加し13,949百万円となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.8%（前事業年度末は48.5%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期業績につきましては、関西圏で開催されました国際的な大型イベント等により、当該地域に対する需要が一時的に高まり、上期において宿泊単価が当初想定を上回って推移しました。下期においては、引き続きインバウンド需要の高まりや現段階におけるホテル事業の宿泊稼働率、客室単価やコスト削減策の実施状況等総合的に勘案し、売上高12,000百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益4,690百万円（同18.4%増）、経常利益4,600百万円（同17.7%増）、当期純利益2,900百万円（同14.1%増）と計画いたしました。詳細につきましては本日（2025年10月31日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、今後業績予想の修正の必要が生じた場合においては適時に開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,920,492	6,867,474
売掛金	695,413	783,399
貯蔵品	21,679	27,517
その他	100,617	312,614
流動資産合計	6,738,203	7,991,006
固定資産		
有形固定資産		
建物	16,220,597	16,689,317
減価償却累計額	△3,862,491	△4,111,538
建物 (純額)	12,358,106	12,577,779
構築物	844,496	897,369
減価償却累計額	△411,941	△437,176
構築物 (純額)	432,555	460,193
機械及び装置	87,692	87,692
減価償却累計額	△61,072	△63,993
機械及び装置 (純額)	26,619	23,698
工具、器具及び備品	314,269	328,057
減価償却累計額	△267,128	△277,287
工具、器具及び備品 (純額)	47,140	50,770
土地	2,654,802	2,686,007
リース資産	4,550,989	4,780,481
減価償却累計額	△1,791,326	△1,948,396
リース資産 (純額)	2,759,663	2,832,085
建設仮勘定	411,460	539,313
有形固定資産合計	18,690,347	19,169,847
無形固定資産	31,161	29,778
投資その他の資産		
敷金及び保証金	552,894	557,475
繰延税金資産	264,554	270,809
その他	8,418	4,030
投資その他の資産合計	825,867	832,314
固定資産合計	19,547,376	20,031,940
資産合計	26,285,579	28,022,946

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	521,000	548,000
1 年内返済予定の長期借入金	1,670,506	1,575,326
リース債務	427,462	503,804
未払金	766,329	1,215,284
未払法人税等	807,986	954,602
契約負債	210,141	240,871
その他	165,352	350,539
流動負債合計	4,568,778	5,388,428
固定負債		
長期借入金	5,533,686	5,243,858
リース債務	2,430,611	2,430,227
退職給付引当金	5,018	5,888
役員退職慰労引当金	57,770	62,490
資産除去債務	909,111	914,199
その他	31,535	28,535
固定負債合計	8,967,732	8,685,198
負債合計	13,536,511	14,073,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	953,920	953,920
資本剰余金	1,387,438	1,387,438
利益剰余金	10,408,652	11,608,902
自己株式	△941	△941
株主資本合計	12,749,068	13,949,319
純資産合計	12,749,068	13,949,319
負債純資産合計	26,285,579	28,022,946

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	5,185,872	6,033,310
売上原価	2,925,585	3,275,399
売上総利益	2,260,287	2,757,910
販売費及び一般管理費		
役員報酬	42,050	52,840
給料及び賞与	68,084	69,057
支払手数料	94,316	94,691
その他	126,563	123,634
販売費及び一般管理費合計	331,015	340,223
営業利益	1,929,271	2,417,687
営業外収益		
受取手数料	12,374	13,374
雑収入	3,885	11,384
営業外収益合計	16,260	24,758
営業外費用		
支払利息	34,295	46,478
雑損失	7,452	7,512
営業外費用合計	41,748	53,990
経常利益	1,903,783	2,388,455
税引前中間純利益	1,903,783	2,388,455
法人税、住民税及び事業税	718,328	910,948
法人税等調整額	△483	△6,254
法人税等合計	717,844	904,694
中間純利益	1,185,939	1,483,761

（3）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。